## 実務経験のある教員等による授業科目一覧【スポーツ鍼灸学科】

授業科目	単位数	実務経験	のある科目担当教員の氏名
東洋医学概論1	2	馬男木亨	
東洋医学概論 2	2	馬男木亨	
経絡経穴概論1	2	小寺 凌	
経絡経穴概論 2	2	小寺 凌	
経絡経穴概論3	2	小寺 凌	
東洋医学診断論 1	2	澤口真也	
東洋医学診断論 2	2	小寺 凌	
東洋医学臨床論1	2	澤口真也	
東洋医学臨床論 2	2	松井恵理	
東洋医学臨床論3	2	馬男木亨	
鍼灸理論 1	2	小寺 凌	
鍼灸理論 2	2	宮原正人	
社会鍼灸学	2	河口弘幸	
基礎実技1	1	松波 賢	
基礎実技 2	1	河口弘幸	
基礎実技3	1	松波 賢	
基礎実技4	1	河口弘幸	
応用実技1	1	河口弘幸	
応用実技 2	1	澤口真也	
応用実技3	1	大中孝子	
応用実技4	1	大庭慎一郎	
応用実技 5	1	中村裕司	
応用実技 6	1	宮原正人	
臨床実技1	1	山野州康	
臨床実技2	1	宮原正人	
臨床実技3	1	大庭慎一郎	
臨床実技4	1	松井恵理	
臨床実技 5	1	堀之内貴一	
臨床実習 1	1	山野州康	
臨床実習 2	1	山野州康	
臨床実習3	1	山野州康	
臨床実習 4	1	山野州康	
総合演習 1	2	大庭慎一郎	
総合演習 2	2	山野州康	
総合演習 3	2	小寺 凌	
総合演習 4	2	宮原正人	
総合演習 5	2	黒川典子	
総合演習 6	2	早野大孝	
合 計	57		

	基礎分里	野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校						
科目区分	0						2019年		マスポーツ鍼灸学科 宮脇 望			
授業科目名		保	健体	育演習	<u> </u>	担当	4者名		宮胠	,望		
授業形態	講義演	寅習	実技	実習	履修年次等		F次		F次	3年次		
	Г ,	2				前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数	l '	۷	j '		授業時間数	40			<b>l</b> '	'		
授業概要	復、スポー	一ツ障 ます。	章害のケ トップア	ア、怪我 スリートの	られているアロマ・ の予防、ストレスI のコンディショニン す。	こよる不言	調の改善	などを行	うことをス	スポーツフ	アロマと	
成績評価												
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	スポーツアロママッサージでセルフケア	神﨑 貴子	草隆社
参考図書			

回数	授業計画
1	イントロダクション アロマセラピーとは/アロマセラピー学
2	精油学1 精油1つ1つの特徴
3	精油学2 基材について
4	グループワーク①
5	禁忌・トリートメントの基本
6	セルフケア① 下肢
7	セルフケア② 腕
8	メンタルケアについて タオルワーク・タオル軽擦
9	下肢後面実技① トリートメントの基本
10	下肢後面実技② ブレンド実習(リラックスオイルの作成)
11	アロマの化学 香りの系統から化学成分を探る
12	下肢後面実技まとめ・応用
13	グループワーク②
14	筆記試験
15	ヘッドトリートメント
16	ブレンド実習・痛み緩和オイル作成
17	下肢前面実技①
18	下肢前面実技②
19	総合実技
20	実技試験

利日区公	基礎分	野		力.州區	九州医療スポーツ専門学校						
科目区分	0					2019年度 スポーツ鍼灸学科1学年					
授業科目名	保健体育演			育演習	<b>≧</b> 2	担当	者名	村方 浩典			
授業形態	講義	寅習	実技	実習	履修年次等		下次		次	3年次	
		2				前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数					授業時間数		40				
授業概要	復、スポ	ーツ障 なます。	章害のケ トップア	ア、怪我( スリートの	られているアロマ・ の予防、ストレスト ロコンディショニン け。	こよる不言	週の改善	などを行	うことをえ	スポーツ	アロマと
成績評価											
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	スポーツアロママッサージでセルフケア	神﨑 貴子	草隆社
参考図書			

回数	授業計画
1	テーピングの説明
2	足関節捻挫に対するテーピング(基本のテーピング)
3	足関節捻挫に対するテーピング(クローズド・バスケットウィーブ)
4	足関節捻挫に対するテーピング(伸縮テープを併用した方法)
5	アーチのテーピング1(非伸縮テープによる方法)
6	アーチのテーピング2(ハンディカット伸縮テープによる方法)
7	母趾のテーピング(伸展制限)
8	踵部のテーピング
9	下腿部肉離れに対するテーピング
10	大腿部の肉離れ、打撲に対するテーピング
11	膝関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング
12	膝関節前十字靭帯損傷に対するテーピング
13	下肢テーピングまとめ
14	肩鎖関節捻挫に対するテーピング・肩関節反復性前方脱臼に対するテーピング
15	肘関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング
16	手関節捻挫に対するテーピング1(Xサポート、縦方向のサポート)
17	手関節捻挫に対するテーピング2(フィギュアエイト)
18	上肢テーピングまとめ
19	上肢・下肢テーピングまとめ
20	期末試験

科目区分	基礎	分野 <b>)</b>	専門基	礎分野	専門分野	2019年		九州医療スポーツ専門学校 度 スポーツ鍼灸学科1学			
授業科目名	7 6 11				担当	者名		工藤和男			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		次		次	3年次	
単位数	2				授業時間数	<u>前期</u> 40	後期	前期	<u>後期</u>	前期	後期
授業概要		「人体の器官」では人体の機能をつかさどる各器官の英語表現を、「英作文演習」では医療現場で使用される英語表現を学習する。本学習により医療従事者にとっての英語表現の基礎を習得させる。									
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。										
その他	資料1	: 「人体		」(各器)	宮の構造とその英 記場での英語表現						

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	授業計画に基づいて資料を作成し都度生徒へ配 布		
参考図書	看護英語の基本用語と表現	著者 円城寺康子/川越栄子	メジカル ビュー社

回数	授業計画
1	人体の器官1(内臓器官)、 英作文演習 医療現場での英語1(自己紹介)
2	人体の器官2(心臓)、 英作文演習 医療現場での英語2(病棟案内-1)
3	人体の器官3(消化器官)、 英作文演習 医療現場での英語3(病棟案内-2)
4	人体の器官4(膵臓の働き)、 英作文演習 医療現場での英語4(食事)
5	人体の器官5(脳/耳)、 英作文演習 医療現場での英語5(排泄)
6	人体の器官6(頭部と頚部)、 英作文演習 医療現場での英語6(入浴)
7	人体の器官7(目)、 英作文演習 医療現場での英語7(睡眠)
8	人体の器官8(皮膚の構造)、 英作文演習 医療現場での英語8(病歴聴取-健康上の習慣)
9	人体の器官9(腎臓)、 英作文演習 医療現場での英語9(病歴聴取-排泄)
10	人体の器官10(呼吸器系)、 英作文演習 医療現場での英語10(病歴聴取-手術、薬、病状)
11	人体の器官11(口と歯)、 英作文演習 医療現場での英語11(血圧検査/体温検査)
12	人体の器官12(脊髄/末梢神経)、英作文演習 医療現場での英語12(血液検査/尿、便検査)
13	人体の器官13(体循環/血管)、 英作文演習 医療現場での英語13(投薬)
14	人体の器官14(全身の骨格)、 英作文演習 医療現場での英語14(注射、包帯)
15	人体の器官15(全身の筋肉)、 英作文演習 医療現場での英語15(体位)
16	人体の器官16(大腸、直腸、排便)、 英作文演習 医療現場での英語16(入院)
17	人体の器官17(全身の神経)、 英作文演習 医療現場での英語17(手術)
18	人体の器官18(手根骨等)、 英作文演習 医療現場での英語18(症状を訴えるA)
19	人体の器官19(膝関節等)、 英作文演習 医療現場での英語19(症状を訴えるB)
20	期末試験

<b>11.0</b>		基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	]	九州医療スオ	ポーツ専門学校
科目区	分	(	C				2019年	度スポーツ	
授業科目	3名		ス	ボー	ツ科学	<b>±</b> 1	担当者名	菅	典雄
授業形	態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次 前期 後期	2年次 前期 後期	3年次 前期 ★ 後期
単位数	汝	2				授業時間数	40	נא עו	נאלאן נאנים
授業概	要	復、2 称して	スポーツ陸	章害のケ トップア	ア、怪我の スリートの	の予防、ストレスI Dコンディショニン	セラピーをスポー こよる不調の改善 グとして取り入れ	などを行うことを	スポーツアロマと
成績評	価								
その他	也								
使用教	·材 I			聿	籍名		- 英元	 者名	出版社名
教科書			+º_ w=			セルフケア		<sub>= 石</sub> 貴子	草隆社
40.00年	<b>=</b>	^	ハージア	ם ל ל ט	<u> </u>	セルンリア	个中心可	具丁	早隆任
参考図	書								
回数						授業計画	<del>ы</del>		
1						又未可是	<u> </u>		
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

科目区分	基礎	<u>分野</u> )	専門基	礎分野	専門分野				九州医療スポーツ専門学校 2019年度 スポーツ鍼灸学科 2学年		
授業科目名	スポーツ科学				<u> </u> 2	担当	i者名		鍵村 昌範		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	<b>Ē次</b>	3年	次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	前期	後期
授業概要	言語	将来臨床現場において必要な人材となりうるためにコミュニケーション学の概念や理論を学び、 言語や非言語によるコミュニケーションと対人関係との相互作用についての理解を深めることを 目的とする。									
成績評価	原則	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	現代コミュニケーション学	池田 理知子 著	(株)有斐社
参考図書			

回数	授業計画
1	キャリアと豊な仕事生活①
2	キャリアと豊な仕事生活②
3	キャリアと豊な仕事生活③
4	ビジネスマナーの基本①:ビジネスマナー
5	ビジネスマナーの基本②: 職場でのコミュニケーション
6	ビジネスマナーの基本③: 円滑なコミュニケーションのために、社会人としての身だしなみ
7	就学中のマナー①: 出席から遅刻までのルール、仕事中の態度や行動
8	就学中のマナー②:態度や表情は内面から出る、感じの良い挨拶
9	就学中のマナー③: お客様との接し方 + 練習問題
10	指示の受け方と報告、連絡、相談①: 指示を受け話を聞くポイント、報告の仕方
11	指示の受け方と報告、連絡、相談②:報告の仕方(続き)、マナーの模擬試験
12	指示の受け方と報告、連絡、相談③:相談と忠告の受け方
13	話し方の基本①:印象がよくなるビジネスにふさわしい話し方
14	話し方の基本②:印象が強くビジネスにふさわしい話し方
15	話し方の基本③:プレゼンテーションの基本、敬語の必要性と種類
16	話し方の基本④: 自己紹介の作成
17	座り方、熨斗
18	料理マナー
19	名刺交換マナー
20	期末試験

-1	基礎分野	専門基	<b>基礎分野</b>	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
科目区分	0					2019年	度ス	ポーツ	鍼灸学科	41学年
授業科目名		呆健体	育理語	<del></del>	担当	4者名				
授業形態	講義演習	実技	実習	履修年次等		F次		F次 3年2		
	2				前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				授業時間数	40					
授業概要	医療人として必要な健康・身体・スポーツ等、身体と運動、健康、社会保障について学ぶ。									
成績評価	期末(検定	試験結果。	、欠席·遅	星刻、授業態度、提	遣出物等を	を加味して	て評価す	る。		
その他										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋 昭彦 他	星雲社
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章 生涯スポーツトレーナー概論【体の発育・発達、呼吸・循環機能、環境等】
2	第1章 生涯スポーツトレーナー概論【日本の現状、これからのスポーツトレーナーのあり方等】
3	第2章 保健指導【健康の定義、社会保障制度、健康づくり等】
4	第2章 保健指導【健康の定義、社会保障制度、健康づくり等】
5	第3章 解剖生理学総論【人体の区分、内臓・骨と関節の仕組みと働き等】
6	第3章 解剖生理学総論【人体の区分、内臓・骨と関節の仕組みと働き等】
7	第6章 高齢者の身体とトレーニング概論【身体的特徴、医学問題、脳の老化と防止等】
8	第6章 高齢者の身体とトレーニング概論【身体的特徴、医学問題、脳の老化と防止等】
9	実技1一① 高齢者の身体とトレーニング
10	実技1-② 高齢者の身体とトレーニング
11	実技1一③ 高齢者の身体とトレーニング
12	実技1-④ 高齢者の身体とトレーニング
13	第8章 生涯スポーツトレーナー「基礎法規」【医療行為と医療類似行為、禁止事項等】
14	第8章 生涯スポーツトレーナー「基礎法規」【医療行為と医療類似行為、禁止事項等】
15	第3章 解剖生理学【骨と関節の仕組みと働き】
16	第3章 解剖生理学【骨と関節の仕組みと働き】
17	第3章 解剖生理学【筋肉の仕組みと働き】
18	第3章 解剖生理学【筋肉の仕組みと働き】
19	前期まとめ
20	理論試験①【『生涯スポーツ指導員』認定試験】

··	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門等						
科目区分		)						2019年度 スポーツ鍼灸学科 2学年				
授業科目名		保	健体	育理語	担当者名			得本 啓次 長野 史尚				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		下次		次	
	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数	4				汉木吋间奴			40				
授業概要		こどもに対して適切な運動指導を行うために必要な知識や技能を学び、スポーツについての理解を 深めることを目的とする。										
成績評価	原則	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	子どもの身体とトレーニング①
2	子どもの身体とトレーニング②
3	発達障害と不器用さ①
4	発達障害と不器用さ②
5	スポーツコーチング学①
6	「子どもの身体とトレーニング」 実技②-1
7	スポーツとは何か?
8	コーチング概論
9	スポーツコーチング学②
10	人体解剖生理学(内臓のしくみ)
11	人体解剖生理学(骨と筋肉のしくみ)
12	「子どもの身体とトレーニング」 実技②-2
13	イベント論①
14	イベント論②
15	スポーツマネージメント概論
16	目標達成とは
17	まとめ①
18	まとめ②
19	資格認定試験、終講試験
20	DVD視聴「あまくない砂糖の話」

51.0.0	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校						
科目区分			0				2019年度 スポーツ鍼灸学科1学年					
授業科目名			解音	学1		担当	i者名	大庭 慎一朗			]	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		2年次		3年次	
	2					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数	2				授業時間数	40						
授業概要		できるよう			態および機能、筋 る。また、自身で『							
成績評価	原則。	原則として、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学(第2版)	河野邦雄、伊藤隆造他著 (社)東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	解剖について、第1章:人体の区分と方向、 第10章:骨格系:骨総論:連結・関節の種類
2	骨学各論: 脊柱の構成—脊柱の機能・椎骨の基本形態、 椎骨の連結・脊柱管・椎間孔・各部の椎骨: 頚椎・胸
3	各部の椎骨:腰椎・仙骨・尾骨・仙腸関節・脊柱の靱帯、 胸郭:胸骨・肋骨・胸郭の全体像と運動
4	脊柱のまとめ
5	上肢の骨 : 上肢帯の骨—鎖骨・肩甲骨
6	自由上肢骨 : 上腕骨・橈骨・尺骨・手根骨・中手骨・指骨
7	上肢の骨のまとめ
8	下肢帯の骨―寛骨(骨盤)・下肢帯の靱帯,自由下肢骨 : 大腿骨・脛骨・腓骨
9	足根骨・中足骨・指骨・下肢の靱帯
10	下肢の骨のまとめ
11	頭蓋骨 I: 頭蓋骨の成り立ち・内頭蓋底
12	頭蓋骨Ⅱ:後頭蓋窩・顔面頭蓋・頭蓋骨をつくる骨
13	頭蓋骨皿:顔面頭蓋をつくる骨・頭部の関節
14	頭蓋骨のまとめ
15	第10章:骨格系:骨学総論、骨の形状による分類
16	第1章:骨の生理学・骨の発生(軟骨内骨化・膜内骨化)
17	第1章:細胞の構造
18	第1章:細胞周期、遺伝子の働き、上皮組織分類
19	まとめ
20	定期試験の解答・解説

51.D 0	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学						
科目区分			0				2019年度 スポーツ鍼灸学科1学年					
授業科目名	解剖学2				军剖学2 担当者				松波	公波 賢		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		次		次		次	
	2					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数					授業時間数	40						
授業概要	本科  する。				態および機能につ どで勉強する時 <i>0</i>					うに内容	を理解	
成績評価	原則。	原則として、中間試験、期末試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学(第2版)	河野邦雄、伊藤隆造他著 (社)東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画	
1	筋学総論① 平滑筋、骨格筋、心筋の概要	
2	筋学総論② 人体の構造	
3	筋学総論③ 関節の可動	
4	筋学総論④ 関節の可動	
5	体幹の筋① 胸部の筋(浅胸筋・深胸筋)	
6	体幹の筋② 腹筋	
7	体幹の筋③ 会陰筋、背筋	
8	体幹の筋④ 体表解剖	
9	中間試験	
10	上肢の筋① 上肢帯の筋、運動	
11	上肢の筋② 上腕の筋、運動	
12	上肢の筋③ 前腕の筋、運動、手の筋	
13	上肢の筋④ 体表解剖	
14	下肢の筋① 下肢帯の筋、運動	
15	下肢の筋② 大腿の筋	
16	下肢の筋③ 下腿の筋、足の筋	
17	下肢の筋④ 体表解剖	
18	頭部・頸部の筋①	
19	頭部・頸部の筋②	
20	期末試験	

된 R E A	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
科目区分			0			2019年度 スポーツ鍼灸学科1学年					
授業科目名			解音	学3		担当者名			松波 賢		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		次		次		F次
	2					前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数					授業時間数		40				
授業概要	造、刑	彡態および	び機能に	ついて、	歳、動静脈、リンバ 患者さん対して説 専門知識を身に・	明できる					
成績評価	原則。	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。									
その他	_	_	_	_		_	_	_	_	_	

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学(第2版)	河野邦雄、伊藤隆造他著 (社)東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			-

到日辰八	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校						
科目区分				)			2019年度 スポーツ鍼灸学科1学年					
授業科目名			解剖	学4		担当者名			担当者名 早野 大孝			
授業形態	講義	演習	実技_	実習	履修年次等		下次		次		次	
	2					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数					授業時間数		40					
授業概要	本科目 <i>の</i> 解する。				ジ態および機能に どで勉強する時 <i>0</i>					ように内	容を理	
成績評価	原則とし	原則として、定期試験および小テスト、授業態度、追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学(第2版)	河野邦雄、伊藤隆造他著 (社)東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	消化器1:総論
2	消化器2:口腔•舌•歯
3	消化器3:唾液腺•咽頭•食道
4	消化器4:胃
5	消化器5:小腸・大腸
6	消化器6:肝臓
7	消化器7:胆のう・膵臓・腹膜
8	泌尿器1:腎臓
9	泌尿器2:尿路
10	中間テスト 生殖器1:男性生殖器
11	生殖器2:女性生殖器
12	内分泌1:総論·下垂体前葉
13	内分泌2:下垂体中・後葉
14	内分泌3:松果体•甲状腺•副甲状腺
15	内分泌4∶精巣・卵巣
16	感覚器1∶総論・皮膚
17	感覚器2:味覚器・嗅覚器
18	感覚器3:平衡聴覚器
19	感覚器4:視覚器
20	期末テスト

科目区分	基礎分野         専門基礎分野         専門分野         九州医療スポーツ           2019年度         スポーツ							スポーツ <sup>I</sup> スポーツ			
授業科目名			解剖	学5		担当者名			宮原 正人		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	₽次	2年	₽次	3年	₽次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	前期	後期
授業概要	中枢:	中枢神経と末梢神経の構造と走行について習得する。									
成績評価	中間	中間試験、期末試験に出席状況、授業態度等を考慮し、総合的に評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学(第2版)	河野邦雄、伊藤隆造他著 (社)東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	神経系総論①(神経系とは)・脊髄について
2	延髄・橋・中脳について
3	間脳・大脳辺縁系・大脳基底核について
4	大脳皮質・大脳内の神経線維、脳室、脳脊髄液について
5	温痛覚の伝導路、触圧覚の伝導路
6	視覚・聴覚の伝導路
7	味覚・嗅覚の伝導路
8	神経系総論②(末梢神経系) 頚神経叢
9	腕神経叢 上肢の神経の走行
10	中間試験
11	体幹の神経の走行
12	腰神経叢 下肢の神経の走行
13	仙骨神経叢 下肢の神経の走行
14	脳神経(嗅神経·視神経·動眼神経·滑車神経)
15	脳神経(三叉神経・外転神経・顔面神経)
16	脳神経(内耳神経・舌咽神経・迷走神経・副神経・舌下神経)
17	自律神経毛 交感神経系
18	自律神経系 副交感神経系
19	期末試験
20	解答解説

科目区分	基礎	分野		礎分野 )	専門分野	九州医療スポーツ専門学 2019年度 スポーツ鍼灸学 2学					
授業科目名			解剖	学6		担当	者名	鍼灸学科教員			į
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	<b>Ĕ次</b>	2年	F次	3年	次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	前期	後期
授業概要	1年》	1年次に行った解剖学と生理学の結びつけながら、復習する。									
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学(第2版)	河野邦雄、伊藤隆造他著 (社)東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	細胞と骨筋 1
2	細胞と骨筋 2
3	内臓と感覚 1
4	内臓と感覚 2
5	脈管と呼吸 1
6	脈管と呼吸 2
7	まとめ 1
8	まとめ 2
9	中間試験
10	総括
11	細胞と骨筋 3
12	細胞と骨筋 4
13	内臓と感覚 3
14	内臓と感覚 4
15	脈管と呼吸 3
16	脈管と呼吸 4
17	神経 1
18	神経 2
19	期末試験
20	解答解説

51.D.E.O	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
科目区分				<u> </u>			2019年	度 スポーツ鍼灸学			
授業科目名	生理!			生理学1			担当者名		黒川・		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		下次	3年次	
	2		'			前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数					授業時間数	40				'	
授業概要			)細胞・組 目的とす		'がどのような性質	を持ち、	どのよう	に働くのフ	かを理解	•	
成績評価	原則。	として、中	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	期末試!	験および追・再試	 験の結果	そで評価す	ナる。 			
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学(第3版)	内田さえ・原田玲子他 著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

ま礎① 生理学の特徴、細胞の構造と機能
基礎② 物質代謝の仕組みと移動
<b>ま礎③ 体液の組成と働き</b>
香環① 血液の組成と働き、血液凝固の仕組み
<b>香環② 心臓血管系、心臓</b>
香環③ 血管系の構造と機能、血圧
<b></b>
<b></b> する は は は は は は は は は は は は は は は は は は
中間試験
肖化と吸収① 消化器系の構造と機能
肖化と吸収② 口腔内の消化、胃内の消化
肖化と吸収③ 小腸内の消化と吸収
肖化と吸収④ 大腸内の消化と吸収
当化と吸収⑤ 直腸・肛門と排便
肖化と吸収⑥ 消化管ホルモン
肖化と吸収⑦ 肝臓の働き
栄養と代謝① 栄養素とエネルギー代謝・ビタミン
栄養と代謝② 三大栄養素の働きと代謝
<b>栄養と代謝③ その他</b>
月末試験
一巷一香一香一香一香一片一当一当一当一当一当一学一笑一笑一

NOEA	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
科目区分	科目区分			<u> </u>			2019年		ポーツ		
授業科目名		生理学2				担当者名		担当者名    黒人		典子	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次	2年次		3年次	
	2		'	İ		前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				<u> </u>	授業時間数		40			<u> </u>	
授業概要			)細胞・組 目的とす		'がどのような性質	を持ち、	どのよう	に働くのフ	かを理解	`	
成績評価											
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学(第3版)	内田さえ・原田玲子他 著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	呼吸① 呼吸器系の構造と機能、呼吸運動
2	呼吸② 肺機能
3	呼吸③ ガス交換と運搬
4	呼吸④ 呼吸運動の調節
5	体温① 体熱の産生と放散の仕組み
6	体温② 体温調節の仕組み
7	排泄① 腎臓の構造と機能、尿の組成
8	排泄② 腎臓による体液の調整
9	排泄③ 蓄尿と排尿
10	中間試験
11	内分泌① ホルモンの一般特徴
12	内分泌② 視床下部・下垂体
13	内分泌③ 甲状腺・副甲状腺
14	内分泌④ 膵臓
15	内分泌⑤ 副腎
16	内分泌⑥ 性腺とその他
17	生殖 男女の生殖器の構造と機能
18	成長と老化
19	まとめ
20	期末試験

科目区分	基礎分野     専門基礎分野     専門分野     九州医療スポーツ製       O     2019年度     スポーツ動											
授業科目名	生理学3					担当者名			黒川	黒川 典子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	Ε次	2年	次	3年	次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	前期	後期	
授業概要		人体の個々の細胞・組織・器官がどのような性質を持ち、どのように働くのかを理解、 習得する事を目的とする。										
成績評価	原則。	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学 (第3版)	佐藤優子·佐藤昭夫他 著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第10章 神経;ニューロンの構造と働き
2	第10章 神経;神経線維の興奮、シナプス伝達
3	第10章 神経;中枢神経系の分類と機能、反射、脊髄
4	第10章 神経;脳幹~小脳
5	第10章 神経;視床~脳脊髄液
6	第10章 神経;末梢神経系~自律神経系
7	第11章 筋:骨格筋の構造と働き、筋の収縮の仕組み
8	第11章 筋:筋のエネルギー供給の仕組み
9	第11章 筋:心筋と平滑筋
10	中間試験(第10章 神経;ニューロンの構造と働き~脳脊髄液)
11	第12章 運動;骨格筋の神経支配
12	第12章 運動;運動の調節①(脊髄レベルでの調節)
13	第12章 運動;運動の調節①(脊髄レベルでの調節)
14	第12章 運動;運動の調節②(脳幹~基底核レベルでの調節)
15	第12章 運動;運動の調節③(大脳皮質レベルでの調節)
16	第12章 運動;錐体路と錐体外路
17	第12章 運動;発声と言語
18	12章まとめ
19	期末試験
20	まとめ

利日反八	基礎分野 専門基礎分野 専門分野 九州医療スポーツ専 2019年度 スポーツ鍼										
科目区分	O 2011							9年度 スポーツ鍼灸学科 2学年			
授業科目名		生理学4				担当	者名		黒川	典子	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		次		次		次
	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数					汉本門印象				40		
授業概要	感覚	感覚と免疫、生理学の復習									
成績評価	原則	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学(第3版)	佐藤優子·佐藤昭夫他 著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	期末試験
20	解答解説

	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校						
科目区分				)		2019年度 スポーツ鍼灸						
授業科目名		運動学				担当	者名					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		□次		次	3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	<u>後期</u> 40	前期	後期	
授業概要	運動:	運動学、機能解剖										
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。											
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学(第2版)	河野邦雄、伊藤隆造他著 (社)東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書	配布資料		-

回数	授業計画
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野 )	専門分野	九州医療スポーツ専門 2019年度 スポーツ鍼彡					
授業科目名		病理学概論				担当	者名				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3年	≣次
	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数					10000000000000000000000000000000000000				40		
授業概要			見点からそ を目的とす		の器官の疾患の症	<b>ī因、</b> 症状	犬、疫学、	検査、治	療法を		
成績評価	原則として、中間試験、期末試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	病理学概論 第2版	滝澤 登一郎·畠山 茂 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	総論 + 病因① 内因
2	病因② 外因
3	循環障害① 充血・うっ血・出血・貧血
4	
5	
6	
7	
8	循環障害② 塞栓症・血栓症・梗塞・水腫
9	退行性病変
10	進行性病変①
11	中間試験 + 進行性病変②
12	炎症① 総論
13	炎症② 分類
14	腫瘍① 総論
15	腫瘍② 分類
16	アレルギー
17	免疫異常
18	遺伝子異常
19	期末試験
20	解答解説

科目区分	基礎	分野		一礎分野 <b>)</b>	専門分野	九州医療スポーツ専 2019年度 スポーツ鍼:						
授業科目名		臨	床医学総論1			担当者名		担当者名  山野		州康		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		□次		次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	前期	後期	
授業概要		現代医学で用いられる診察法と検査法について理解することを目的とする。 また症状別の病態についても習得していく。										
成績評価	原則。	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学総論 第2版	奈良 信夫 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	診察の概要
2	診察の方法 1: 医療面接
3	診察の方法 2: 視診・触診
4	診察の方法 3: 打診・聴診
5	診察の方法 4: 測定法・神経系の診察
6	生命徴候(バイタルサイン) 1: 体温・脈拍
7	生命徴候(バイタルサイン) 2: 血圧・呼吸
8	全身の診察 1: 顔貌・精神状態・言語
9	全身の診察 2: 身体測定・体型・体格
10	全身の診察 3: 栄養状態・姿勢と体位・歩行
11	全身の診察 4: 皮膚、粘膜、皮下組織
12	全身の診察 5: 爪・リンパ節・その他の一般状態
13	局所の診察 1: 頭部・顔面部・眼・耳
14	局所の診察 2: 鼻·口腔·頚部·胸部·乳房
15	局所の診察 3: 肺・胸膜・心臓・腹部
16	局所の診察 4: 背部・四肢
17	神経系の診察 1: 知覚検査・反射検査
18	神経系の診察 2: 脳神経検査・髄膜刺激検査・その他の検査
19	期末試験
20	解答解説

科目区分	基礎	分野		礎分野 )	専門分野	九州医療スポーツ専門 2019年度 スポーツ鍼灸 2							
授業科目名		臨	床医	医学総論2			担当者名						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		次		次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	<u>後期</u> 40	前期	後期		
授業概要		現代医学で用いられる診察法と検査法について理解することを目的とする。 また症状別の病態についても習得していく。											
成績評価	原則。	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。											
その他													

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学総論 第2版	奈良 信夫 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第7章 運動機能検査 ① 運動麻痺・筋肉の異常・不随意運動
2	第7章 運動機能検査 ② 協調運動・起立と歩行・可動域検査・徒手筋力検査
3	第7章 運動機能検査 ③ 整形外科的検査法 + 第8章 その他の診察 救急・小児・女性への検査
4	
5	
6	
7	第8章 臨床検査法 ① 一般臨床検査
8	第8章 臨床検査法 ② 血液生化学検査·生理学検査·画像診断
9	第8章 臨床検査法 ③ 生理学検査·画像診断
10	第11章 治療学 薬物療法、理学・食事療法、その他の療法 + 第12章 臨床心理
11	第10章 おもな症状の診察法 ①
12	第10章 おもな症状の診察法 ②
13	第10章 おもな症状の診察法 ③
14	第10章 おもな症状の診察法 ④
15	第10章 おもな症状の診察法 ⑤
16	第10章 おもな症状の診察法 ⑥
17	第10章 おもな症状の診察法 ⑦
18	第10章 おもな症状の診察法 ⑧
19	期末試験
20	解答解説
20	件合件机

科目区分	基礎	分野	専門基	·礎分野 <b>)</b>	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2019年度 スポーツ鍼灸学科 2学年					
授業科目名		臨	床医	学各訴	<b>角</b> 1	i者名		早野	大孝		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3年	F次
333,333					小小米叶田米	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2	'	'		授業時間数			40			
授業概要		医学的観することを			の器官の疾患の症	<b></b>	犬、疫学、	検査、治	音療法を		
成績評価	原則。	として、授	· 美業態度、	、定期試	験および追・再試	験の結果	そで評価で	する。			
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論 第2版	奈良 信夫·佐藤千史他 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書			

1       感染症 1         2       感染症 3         4       感染症 4         5       感染症 5         6       感染症 まとめ         7       消化管疾患 1         8       消化管疾患 2         9       消化管疾患 3         10       消化管疾患 5         12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ         19       期末試験	回数	授業計画
3       感染症 3         4       感染症 4         5       感染症 5         6       感染症 まとめ         7       消化管疾患 1         8       消化管疾患 2         9       消化管疾患 3         10       消化管疾患 5         12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	1	感染症 1
4       感染症 4         5       感染症 5         6       感染症 まとめ         7       消化管疾患 1         8       消化管疾患 2         9       消化管疾患 3         10       消化管疾患 4         11       消化管疾患 5         12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	2	感染症 2
5       感染症 5         6       感染症 まとめ         7       消化管疾患 1         8       消化管疾患 2         9       消化管疾患 3         10       消化管疾患 4         11       消化管疾患 5         12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	3	感染症 3
6       感染症 まとめ         7       消化管疾患 1         8       消化管疾患 2         9       消化管疾患 3         10       消化管疾患 4         11       消化管疾患 5         12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	4	感染症 4
7       消化管疾患 1         8       消化管疾患 2         9       消化管疾患 3         10       消化管疾患 4         11       消化管疾患 5         12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	5	感染症 5
8       消化管疾患 2         9       消化管疾患 3         10       消化管疾患 4         11       消化管疾患 5         12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	6	感染症 まとめ
9 消化管疾患 3 10 消化管疾患 4 11 消化管疾患 5 12 消化管疾患 6 13 消化管疾患 7 14 肝・胆・膵疾患 1 15 肝・胆・膵疾患 2 16 肝・胆・膵疾患 3 17 肝・胆・膵疾患 4 18 消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	7	消化管疾患 1
10       消化管疾患 4         11       消化管疾患 5         12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	8	消化管疾患 2
11       消化管疾患 5         12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	9	消化管疾患 3
12       消化管疾患 6         13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	10	消化管疾患 4
13       消化管疾患 7         14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	11	消化管疾患 5
14       肝・胆・膵疾患 1         15       肝・胆・膵疾患 2         16       肝・胆・膵疾患 3         17       肝・胆・膵疾患 4         18       消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	12	消化管疾患 6
15     肝・胆・膵疾患 2       16     肝・胆・膵疾患 3       17     肝・胆・膵疾患 4       18     消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	13	消化管疾患 7
16     肝・胆・膵疾患 3       17     肝・胆・膵疾患 4       18     消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	14	肝・胆・膵疾患 1
17     肝・胆・膵疾患 4       18     消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	15	肝・胆・膵疾患 2
18 消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ	16	肝・胆・膵疾患 3
	17	肝・胆・膵疾患 4
19 期末試験	18	消化管疾患 肝・胆・膵疾患 まとめ
	19	期末試験
20 解答解説	20	解答解説

科目区分	基礎	分野		·礎分野 )	専門分野	九州医療スポーツ専門与 2020年度 スポーツ鍼灸与 3号						
授業科目名		臨	床医	学各部	<b>論</b> 2	担当者名 早野 大				大孝		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		□次		下次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	
授業概要			!点からそ !目的とす		の器官の疾患の症	<b>荡</b> 因、症 <sup>妆</sup>	伏、疫学.	、検査、消	台療法を			
成績評価	原則。	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論 第2版	奈良 信夫·佐藤千史他 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	呼吸器疾患① 総論:解剖、生理+感染性呼吸器
2	呼吸器疾患② 閉塞性呼吸器疾患 1
3	呼吸器疾患③ 閉塞性呼吸器疾患 2
4	呼吸器疾患④ 拘束性呼吸器疾患 1
5	呼吸器疾患⑤ 拘束性呼吸器疾患 2
6	呼吸器疾患⑥ その他の呼吸器疾患 1
7	呼吸器疾患⑦ その他の呼吸器疾患 2
8	循環器① 総論:解剖、生理+検査 i
9	循環器② 心不全 1
10	循環器③ 心不全 2
11	循環器④ 心臓弁膜症 i
12	循環器⑤ 心臓弁膜症 ii
13	循環器⑥ 心臓弁膜症 iii
14	循環器⑦ 不整脈+その他(心房・室中隔欠損)+冠動脈疾患 i
15	循環器疾患® 冠動疾患 ii 、動脈疾患、血圧異常
16	血液・造血器疾患① 赤血球・白血球疾患
17	血液・造血器疾患② リンパ網内皮系
18	血液·造血器疾患③ 出血性素因
19	まとめ
20	定期テスト/定期試験の解答・解説

科目区分	基礎	分野		·礎分野 )	専門分野	九州医療スポーツ専門与 2020年度 スポーツ鍼灸与 3学						
授業科目名		臨	床医	学各部	<b>A</b> 3	担当者名 早野			大孝			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		□次		下次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	
授業概要			!点からそ !目的とす		の器官の疾患の症	<b>荡</b> 因、症 <sup>妆</sup>	伏、疫学.	、検査、治	台療法を			
成績評価	原則	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論 第2版	奈良 信夫·佐藤千史他 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書			

授業計画
腎・尿器疾患 1: 原発性糸球体腎炎(糸球体腎炎・ネフローゼ症候群)
腎·尿器疾患 2: 腎不全(腎不全)
腎·尿器疾患 3: 感染症、腫瘍性疾患(腎盂腎炎·膀胱炎·尿道炎·腎腫瘍·膀胱癌)
腎·尿器疾患 4: 腫瘍性疾患、前立腺疾患(腎腫瘍·膀胱癌·前立腺肥大·前立腺癌)
内分泌疾患 1: 下垂体疾患(クッシング病・成長ホルモン分泌不全性低身長症・尿崩症)
内分泌疾患 2: 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症・慢性甲状腺炎(橋本病))
内分泌疾患 3: 副腎疾患(副腎皮質機能亢進症(クッシング症候群)・原発性アルドステロン症・アジソン病・褐色細胞腫
腎・尿器疾患 まとめ 1
腎・尿器疾患 まとめ 2
内分泌疾患 まとめ 1
内分泌疾患 まとめ 2
代謝·栄養疾患 1: 糖代謝異常、脂質代謝異常(糖尿病·高脂血症)
代謝・栄養疾患 2: 脂質代謝異常、尿酸代謝異常(肥満症・るいそう・高尿酸血症・痛風)
代謝・栄養疾患 3: その他の代謝異常症(ビタミン欠乏症・過剰症・骨軟化症(くる病))
リウマチ性疾患・膠原病 1: リウマチ性疾患・膠原病(関節リウマチ・全身性エリテマトーデス・全身性硬化症)
リウマチ性疾患・膠原病 2: 膠原病(ベーチェット病・多発性筋炎・皮膚筋炎)
リウマチ性疾患・膠原病 3: 膠原病(多発性動脈炎・食物アレルギー・血清病)1
リウマチ性疾患・膠原病 4: 膠原病(多発性動脈炎・食物アレルギー・血清病)2
まとめ
定期テスト/定期試験の解答・解説

科目区分	基礎	分野		<u>礎分野</u> )	専門分野	九州医療スポーツ専門学 2020年度 スポーツ鍼灸学 3学					
授業科目名		臨	床医	学各部	<b>A</b>	担当	i者名		堀之内	〕貴一	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	<b>Ĕ次</b>	3年	次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期
授業概要			見点からそ を目的とす		の器官の疾患の症	<b>病因、</b> 症4	<b>伏、疫学</b>	、検査、治	台療法を		
成績評価	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論 第2版	奈良 信夫·佐藤千史他 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書			

科目区分	基礎	分野		一礎分野 つ	専門分野	九州医療スポーツ専門学 2020年度 スポーツ鍼灸学 3学						
授業科目名	リハビリテーション			ン医学	担当	i者名	馬男木 亨					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	₽次	3年	次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	
授業概要		リハビリテーションの基礎のうち最も大切な障害学と運動学を習得し、正しい知識を深めることを目的とする。										
成績評価	原則	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リハビリテーション医学 第4版	土肥 信之 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書	配布資料		

回数	授業計画
1	リハビリテーションと障害
2	リハビリテーションと医学と医療
3	障害の評価
4	脳卒中①
5	脳卒中②
6	脊髄損傷①
7	脊髄損傷②
8	切断①
9	切断② 小児疾患
10	関節リウマチ①
11	関節リウマチ②
12	関節リウマチ③
13	変形性関節症①
14	変形性関節症②
15	パーキンソン病 1
16	パーキンソン病 2
17	呼吸器疾患·心疾患 1
18	呼吸器疾患·心疾患 2
19	まとめ
20	定期テスト/定期試験の解答・解説

科目区分	基礎	分野		礎分野 )	専門分野	九州医療スポーツ専門 <sup>会</sup> 2020年度 スポーツ鍼灸 <sup>®</sup> 3 <sup>g</sup>											
授業科目名										概論		担当者名		河口		弘幸	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	下次	3年	次						
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期						
授業概要	東西両医学・医療史および現代の医療制度,医療倫理についての理解を目的とする。																
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。																
その他																	

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	医療概論	中川米造 監修 (社)東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	医学史序説、医学史の意義と特質
2	西洋医学と医療の歴史 : 1)古代の医学∷エジプト・バビロニア・新大陸の医学
3	西洋医学と医療の歴史:2)中世の医学、3)ルネサンスの医学
4	西洋医学と医療の歴史:4)17世紀の医学、18世紀の医学、19世紀以降の医学
5	古代インドの医学
6	中国の医学
7	古代以前、古代の医学、中世の医学
8	近世の医学、近代の医学
9	現代医学の課題: 西欧近代医学
10	現代医学の課題:東洋医学
11	現代の医療制度:医療従事者と医療施設、医療と医療経済、医療保険のしくみ 1
12	現代の医療制度:医療従事者と医療施設、医療と医療経済、医療保険のしくみ 2
13	現代の医療制度:公的医療負担、介護サービス行政 1
14	現代の医療制度:公的医療負担、介護サービス行政 2
15	医療倫理:倫理とは、医療倫理 1
16	医療倫理:倫理とは、医療倫理 2
17	医療倫理、施術者としての倫理 1
18	医療倫理、施術者としての倫理 2
19	まとめ
20	期末試験 解答・解説

·										ポーツ専門学校		
科目区分	0							20	2020年度 スポーツ鍼灸学科 3学年			
授業科目名		衛生	E学公	衆衛:	生学	担当者名		大庭 慎-		慎一郎	一郎	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		F次		次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	
授業概要	人体。 る。	人体と環境との繋がりを学び、医療に必要な衛生学的知識を習得させ、身につけることを目的とする。										
成績評価	原則。	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	衛生学・公衆衛生学	鈴木庄亮·他著 (社)東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

2 第2章	学について・第1章:衛生学とは・第2章:健康の概念1 章:健康の概念2
	章:健康の概念2
3 第3章	
	き:ライフスタイルと健康
4 第4章	賃∶環境と健康∶日常生活環境・環境問題1
5 第4章	章:環境問題2
6 第5章	章:産業保健
7 第6章	〕:精神保健の意義、精神の健康、精神障害の現状と分類 I
8 第7章	章:母子保健
9 第8章	章:老人・高齢者保健の意義・加齢と老化・生活習慣病の特徴と対策
10 第8章	章:老人福祉対策、介護保険、難病対策の現状
11 第9章	章:感染症の意義と種類
12 第9章	章:発生要因•感染症 1
13 第9章	章:発生要因•感染症 2
14 第10	〕章:消毒法一般、消毒の種類 1
15 第10	〕章:消毒法一般、消毒の種類 2
16 第11	章:疫学 1
17 第11	章:疫学 2
18 第12	章:保健統計 1
19 第12	章:保健統計 2
20 期:	末試験 解答・解説

NUEV	基礎分	分野	専門基	礎分野	専門分野	野 九州医療スポーツ専門						
科目区分					0	2019年度 スポーツ鍼灸学						
授業科目名		東	洋医:	学概証	<b>侖</b> 1	担当	i者名		馬男	木亨		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次	2年次		3年次		
	2					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数					授業時間数	40					ĺ	
授業概要	鍼灸治療に必要な基本的東洋医学の理論を学び、人体のとらえ方、疾病観について理解することを目的とする。											
成績評価	定期詞	定期試験の成績および出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書	中医学の基礎	有馬直樹/兵頭昭 日中共同編集	東洋学術出版 社

回数	授業計画
1	東洋医学について
2	陰陽論・五行論①
3	陰陽論·五行論②
4	陰陽論·五行論③
5	精の生理・病理
6	気の生理・病理①
7	気の生理・病理②
8	気の生理・病理③
9	東洋医学の改革
10	中間試験 解答・解説
11	経絡について
12	血の生理・病理①
13	血の生理・病理②
14	津液の生理・病理①
15	津液の生理・病理②
16	五神・情志について
17	陰虚・陰盛・陽虚・陽盛①
18	陰虚・陰盛・陽虚・陽盛②
19	陰虚·陰盛·陽虚·陽盛③
20	期末試験 解答・解説

	基礎	分野	専門基	:礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学						
科目区分					0		2019年	度ス				
授業科目名		東	洋医:	学概証	<b></b>	担当者名		馬男木				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		次	2年次		3年次		
	2					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数					授業時間数		40					
授業概要		治療に必 ·目的とす		的東洋	医学の理論を学び	び、人体 <i>の</i>	ひとらえた	ī、疾病観	見について	て理解す	る	
成績評価	定期	定期試験の成績および出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書	中医学の基礎	有馬直樹/兵頭昭 日中共同編集	東洋学術出版 社

回数	授業計画
1	蔵象学説(肝、胆、心、小腸の生理)
2	蔵象学説(脾、胃、肺、大腸の生理)
3	蔵象学説(腎、膀胱、三焦の生理)
4	蔵象学説(肝、胆の病証)
5	蔵象学説(心、小腸の病証)
6	蔵象学説(脾、胃の病証)
7	蔵象学説(肺、大腸の病証)
8	蔵象学説(腎の病証)
9	蔵象学説(膀胱、三焦の病証)
10	中間試験 解答・解説
11	五臓の相互関係①
12	五臓の相互関係②
13	五臓の相互関係③
14	五臓の関連領域の気機①
15	五臓の関連領域の気機②
16	蔵象学説まとめ
17	病因病機①
18	病因病機②
19	病因病機③
20	期末試験 解答・解説

	■ 基礎分野 ■ 専門基礎分野 ■ 専門分野 九州医					医療スポ	療スポーツ専門学校						
科目区分					0		2019年		度 スポーツ鍼灸学科1学年				
授業科目名		経	絡経	穴概詞	侖1	担当	者名		小寺	凌			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		下次		年次 3年		下次		
	2					前期	後期	前期	後期	前期	後期		
単位数					授業時間数	40							
授業概要			成り立ち ついて学		脈の流注と経穴を	を理解し、	全身に流	荒れる経	絡の全体	像と各紹	経絡に所		
成績評価	定期記	定期試験と小テストの点数を総合して評価する。											
その他													

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版 経絡経穴概論 第2版	教科書執筆委員会 著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	経絡の誕生、臓腑の概要、経絡の概要について
2	解剖学的肢位と方向に関する用語、体表指標、体表区分について
3	骨度法、同身寸法について
4	十四経脈の流注について
5	督脈について
6	任脈について
7	手の太陰肺経について
8	手の陽明大腸経について
9	足の陽明胃経について①
10	足の陽明胃経について②
11	足の太陰脾経について
12	手の少陰心経について
13	手の太陽小腸経について
14	足の太陽膀胱経について①
15	足の太陽膀胱経について②
16	足の少陰腎経について
17	手の厥陰心包経について
18	手の少陽三焦経について
19	まとめ
20	定期試験

	基礎:	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門 2019年度 スポーツ鍼灸学科15					門学校
科目区分					0						
授業科目名		経	:絡経:	穴概証	<b></b>	担当	者名	小寺 凌			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		次		下次	3年次	
	2					前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数					授業時間数		40				
授業概要	習する	5.			ノ、全身に流れるá し、身体各部ごと(						
成績評価	定期記	定期試験と小テストの点数を総合して評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版 経絡経穴概論 第2版	教科書執筆委員会 著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	足の少陽胆経について①
2	足の少陽胆経について②
3	足の厥陰肝経について
4	奇穴について
5	並びの経穴について(胸腹部、腰背部など)
6	並びの経穴まとめ
7	頭部、頸部の経絡について
8	上肢の経絡について
9	下肢の経絡について
10	奇経八脈の概要、流注について
11	奇経八脈病証について
12	奇経八脈まとめ
13	十二絡脈、十二経筋、十二皮部について①
14	十二絡脈、十二経筋、十二皮部について②
15	十二経脈病証について①
16	十二経脈病証について②
17	経穴対策問題
18	経穴対策問題
19	まとめ
20	定期試験

	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	ー 九州医療スポーツ専門学校						
科目区分					0		2019年		度 スポーツ鍼灸学科1学年			
授業科目名		経	絡経:	穴概証	<b></b>	担当	者名		小寺 凌			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		次		手次 3年		下次	
	2					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数					授業時間数		40					
授業概要					習する。また、経穴 を把握することが				内臓器と	の位置関	[係など	
成績評価	定期記	定期試験と小テストの点数を総合して評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版 経絡経穴概論 第2版	教科書執筆委員会 著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	要穴の概要について、原穴について
2	郄穴、絡穴について
3	募穴、背部兪穴について
4	四総穴、八会穴、下合穴について
5	五兪穴、五行穴について
6	要穴表まとめ
7	配穴法について
8	経穴と主治について①
9	経穴と主治について②
10	腹部内臓器と相関経穴について
11	筋肉と相関経穴について①
12	筋肉と相関経穴について②
13	動脈と神経と相関経穴について①
14	動脈と神経と相関経穴について③
15	デルマトームと相関経穴について①
16	デルマトームと相関経穴について②
17	経穴対策問題
18	経穴対策問題
19	まとめ
20	定期試験

MEEN	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2019年度 スポーツ鍼灸学科					
科目区分					0	2019年度 スポート			スポーツ	鍼灸字科 2学年	
授業科目名		東海	羊医学	診断	<b>淪1</b> 担当者名			澤口 真也			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年	次		次
単位数	2				授業時間数	前期	前期後期		後期	前期	後期
授業概要		東洋医学の診察法である四診について、また、治療法である治則・治法について学び、東洋医学的な鑑別診断に用いる知識を学ぶ。									
成績評価	原則。	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学概論	教科書執筆委員会 著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	四診法とは(神色形態など)
2	望診①(舌質)
3	望診②(舌態)
4	望診③(舌苔)
5	聞診(声診、五音、五声、呼吸、発語、異常音、気味)
6	問診①(寒熱、飲食、睡眠)
7	問診②(二便、情志、生活環境)
8	問診③(五官、頭身、汗)
9	問診④(疼痛、女性、小児)
10	中間試験 解答・解説
11	切診①(反応、腹診、切経、経穴診)
12	切診②(脈状診)
13	切診③(比較脈診)
14	弁証①(八綱弁証、気血津液弁証、臓腑弁証)
15	弁証②(六淫弁証、六経弁証、衛気営血弁証、三焦弁証)
16	論治①(治則、治法)
17	論治②(治法、補瀉法)
18	論治③(難経六十九難、古代刺法)
19	期末試験
20	解答解説

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学杉 2019年度 スポーツ鍼灸学科 2学年							
授業科目名		東海	羊医学	診断	論2	担当者名		小寺 凌					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		1年次		2年次			
単位数	2				授業時間数	前期	前期 後期		<u>後期</u> 40	前期	後期		
授業概要	症状	症状に対して、東洋医学的病態把握(弁証論治)、治療方法(配穴)を習得する。											
成績評価	定期試験および追・再試験の結果で評価する。												
その他													

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	頭痛
2	顔面痛、顔面麻痺
3	歯痛、眼精疲労
4	鼻閉、鼻汁、脱毛症
5	めまい、耳鳴、難聴
6	咳嗽、喘息
7	胸痛、腹痛
8	悪心、嘔吐
9	便秘、下痢
10	中間試験解答·解説
11	月経異常
12	排尿障害、インポテンス
13	高血圧、低血圧
14	食欲不振、肥満
15	発熱、のぼせ、冷え
16	不眠、倦怠感
17	発赤、小児症状
18	肩凝り、上肢痛、腰下肢痛、運動麻痺
19	期末試験
20	解答解説

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2019年度 スポーツ鍼灸学科 2学年						
授業科目名		東海	羊医学	臨床	論1	担当者名    澤			澤口	〕 真也		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	≣次	3年	次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期 <b>40</b>	前期	後期	
授業概要	患者	患者さんの主訴に対する西洋医学的、東洋医学的治療法を学ぶ。										
成績評価	定期	定期試験および追・再試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

41.E.C.	基礎	分野	専門基	:礎分野	専門分野					スポーツ	
科目区分					0	2020年度 スプ			スポーツ	鍼灸学科 3学年	
授業科目名		東海	羊医学	臨床	論2	担当者名		松井	恵理		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		次		次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期
授業概要	患者	患者さんの主訴に対する西洋医学的観念から学ぶ。									
成績評価	定期	定期試験および追・再試験の結果で評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	神経·筋疾患①
2	神経・筋疾患②
3	神経・筋疾患③
4	運動器疾患①
5	運動器疾患②
6	運動器疾患③
7	スポーツ障害①
8	スポーツ障害②
9	現代医学的治療の考え方
10	中間試験 解答・解説
11	消化器疾患
12	呼吸器疾患
13	循環器疾患
14	泌尿器疾患
15	婦人科疾患
16	耳鼻咽喉疾患
17	膠原病
18	その他の内科疾患
19	老年医学
20	期末試験 解答·解説

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2020年度 スポーツ鍼灸学科 3学年					
授業科目名		東海	羊医学	臨床	論3	担当者名 馬男木 亨			木亨		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		<b>F次</b>	2年	<b>Ĕ次</b>	3年	次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	<u>後期</u> 40
授業概要	疾患	疾患・症状に対し、現代医学・伝統医学の両方の観点から病態を把握する。									
成績評価	定期	定期試験および追・再試験の結果で評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	東洋医学臨床論:基礎①
2	東洋医学臨床論:基礎②
3	東洋医学臨床論:基礎③
4	東洋医学臨床論:基礎④
5	東洋医学臨床論:基礎⑤
6	東洋医学臨床論:基礎⑥
7	東洋医学臨床論:基礎⑦
8	東洋医学臨床論:基礎⑧
9	東洋医学臨床論:基礎⑨
10	中間試験 解答・解説
11	東洋医学臨床論:臨床①
12	東洋医学臨床論:臨床②
13	東洋医学臨床論:臨床③
14	東洋医学臨床論:臨床④
15	東洋医学臨床論:臨床⑤
16	東洋医学臨床論:臨床⑥
17	東洋医学臨床論:臨床⑦
18	東洋医学臨床論:臨床⑧
19	東洋医学臨床論:臨床⑨
20	期末試験 解答·解説
	-

n	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門等							
科目区分					0	2019年度 スポーツ鍼灸学科1学年							
授業科目名			鍼灸	理論1		担当	i者名	小寺 凌					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次				次		下次
単位数	2				授業時間数	<u>前期</u> 40	後期	前期	<u>後期</u>	前期	後期		
授業概要	互理解	医療の中で求められる鍼灸治療の基本知識や生体反応について理解し、東洋医学と西洋医学の相 互理解を深めることを目的とする。 またここでは鍼灸臨床で用いる器具、技術、衛生処置、リスク管理について学ぶ。											
成績評価	原則と	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。											
その他													

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論	教科書執筆委員会 著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	鍼術の定義
2	灸術の定義
3	用具について
4	古代九鍼
5	刺鍼の方式
6	刺鍼の術式
7	特殊鍼法
8	灸の基礎知識
9	灸術の種類
10	中間試験 鍼灸の臨床応用 ①刺激量と感受性について
11	鍼灸の臨床応用 ②適応症と禁忌について
12	リスク管理 ①基本となること
13	リスク管理 ②鍼灸療法の過誤と副作用
14	リスク管理 ③感染症対策
15	鍼灸治効 ①様々な感覚の受容と伝導
16	鍼灸治効 ②様々な感覚の受容と伝導
17	鍼灸治効 ③鍼灸刺激とその反応について
18	鍼灸治効のまとめ
19	鍼灸理論のまとめ
20	期末試験 解説·解答

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2020年度 スポーツ鍼灸学科 3学年					
授業科目名			鍼灸	理論2		担当者名 宮原			正人	077	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	<u>後期</u> 40
授業概要	西洋	医学の相	互理解を	上深める	寮の基本知識や生 ことを目的とする。 」、技術、衛生処置				-		ハて学
成績評価	原則とし	原則として、定期試験および追・再試験の結果、及び出席により評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	鍼灸の定義と用具、古代九鍼について、刺鍼の方式
2	刺鍼の術式、特殊鍼法、灸術の種類
3	鍼灸の臨床応用、リスク管理
4	治効の基礎 1
5	治効の基礎 2
6	治効の基礎 3
7	治効の基礎 4
8	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響 1
9	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響 2
10	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響 3
11	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響 4
12	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響 5
13	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響 1
14	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響 2
15	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響 3
16	関連学説 1
17	関連学説 2
18	関連学説 3
19	まとめ
20	期末試験 解答·解説

科目区分	基礎	分野	専門基礎分野         専門分野         九州医療スポーツ専 2020年度 スポーツ鍼								
授業科目名		;	社会釒	咸灸学	<u>5</u>	担当	i者名		河口	弘幸	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		₽次		次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	<u>後期</u> 40
授業概要	現代 <sup>:</sup> ぶ	現代社会においてのはり師・きゅう師の役割や社会的ニーズを、歴史や関係する法律を踏まえて学ぶ									
成績評価	原則。	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	関係法規、医療概論	教科書執筆小委員会 著 (社)東洋療法学校協会 編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション+世界医療史
2	東洋医学史 ①
3	東洋医学史 ②
4	日本医学史①
5	日本医学史②
6	現代の医療制度とその問題点①:福祉法規、社会保険など
7	現代の医療制度とその問題点②:医療費の問題(医療費増大の問題、公費負担医療について)
8	あはき法①(「免許」「取得・再交付・身分の消滅と復活」)
9	あはき法②(業務内容・施術所・罰則①)
10	あはき法③(業務内容・施術所・罰則②)
11	あはき法④「罰則」、法の種類、医療法、医師法
12	医療従事者に関する法律(医師と薬剤師)、保健一般に関する法律、予防衛生に関する法律 1
13	医療従事者に関する法律(医師と薬剤師)、保健一般に関する法律、予防衛生に関する法律 2
14	医療従事者に関する法律(医師と薬剤師)、保健一般に関する法律、予防衛生に関する法律 3
15	環境衛生に関する法律、社会福祉関係法規、介護保険制度 1
16	環境衛生に関する法律、社会福祉関係法規、介護保険制度 2
17	鍼灸師が活躍する場①(開業鍼灸師)
18	鍼灸師が活躍する場②(病院勤務鍼灸師)
19	鍼灸師が活躍する場③(その他:終末医療における鍼灸)
20	期末試験 解答·解説
20	期末試験の解答・解説

	基礎分野		専門基礎分野		専門分野			九州医療スポーツ専門学校			
科目区分					0	2019年度 スポーツ鍼					
授業科目名			基礎:	実技1		担当者名		担当者名    松		波賢	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		次	2年次		3年次	
			l ₁			前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			l '		授業時間数	40					
授業概要					<b>화生的に行えるこ</b> かりと意識付ける		すること	を目的と	する。		
成績評価	自覚を加	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。 実技小テストは独自の採点基準のもと厳粛に採点します。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技 基礎編	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	準備と片付け
2	刺鍼手順
3	感染症対策、挿管法
4	揉撚法、押手、切皮
5	刺入
6	刺鍼の術式①
7	刺鍼の術式②
8	まとめ①
9	実技小テスト
10	実技小テスト
11	刺鍼練習器の使い方
12	鍼灸療法の適応と禁忌
13	鍼灸療法の過誤と副作用 ①
14	鍼灸療法の過誤と副作用 ②
15	鍼灸療法の過誤と副作用 ③
16	斜刺・横刺のやり方
17	体位変換
18	まとめ②
19	期末試験
20	期末試験

	<u>基礎分野 専門基礎分野 専門分野</u> 九州医療スポーツ								- ツ車	門学校	
科目区分					0	2019年度 スポーツ鍼灸学科					
授業科目名			基礎:	実技2		担当	i者名		河口	弘幸	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次	2年次		3年次	
		i	1 1		1	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			<u>'</u>	<u> </u>	授業時間数	40				<u> </u>	
授業概要		基礎的な灸の技術を安全かつスムーズに行えるようにする。 米粒大、半米粒大以外の大きさも修得し、熱さをコントロールできるようにする。									
成績評価											
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技 基礎編	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	灸とは何か
2	施灸練習(ベニヤ施灸)
3	施灸練習(ベニヤ施灸)
4	施灸練習(ベニヤ施灸) 点火開始
5	施灸練習(ベニヤ施灸)
6	施灸練習(ベニヤ施灸)
7	施灸練習(ベニヤ施灸)
8	施灸練習(ベニヤ施灸)+竹への施灸
9	施灸練習(ベニヤ施灸)+竹への施灸
10	中間テスト
11	施灸練習(ベニヤ施灸)+(自足施灸)
12	施灸練習(ベニヤ施灸)+(自足施灸)
13	施灸練習(ベニヤ施灸)+(自足施灸)+知熱灸
14	施灸練習(ベニヤ施灸)+(自足施灸)+知熱灸
15	施灸練習(自足施灸)+(他者の失眠穴に施灸)
16	施灸練習(自足施灸)+(他者の失眠穴に施灸)
17	施灸練習(自足施灸)+(他者の足三里・三陰交穴に施灸)
18	期末試験の説明+(他者の足三里・三陰交穴に施灸)
19	まとめ
20	期末試験

	<u>基礎分野 専門基礎分野 専門分野</u> 九州医療スポーツ								- ツ車	門学校	
科目区分	·				0	2019年度 スポーツ鍼灸学					
授業科目名			基礎:	実技3	,	担当	担当者名 松波 賢			. 賢	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		2年次		F次
1		l '	1	'		前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		l '		'	授業時間数		40	!	'	1 '	
授業概要	また過	基礎的な鍼の技術を安全かつ衛生的にパートナーに行えることを習得することを目的とする。 また過誤や副作用についてしっかりと意識付ける。									
成績評価	自覚を	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。 実技小テストは独自の採点基準のもと厳粛に採点します。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技 基礎編	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	タオルワーク、斜刺・横刺のやり方
2	下肢前面の刺鍼
3	下肢後面の刺鍼
4	下肢側面の刺鍼
5	上肢後面の刺鍼
6	上肢前面の刺鍼
7	坐位での上肢刺鍼
8	上下肢の刺鍼(まとめ)
9	実技小テスト
10	実技小テスト
11	タオルワーク、旋撚刺法
12	タオルワーク、旋撚刺法
13	腰部、殿部の刺鍼
14	血圧測定
15	頭頸部の刺鍼 + 血圧測定
16	頭頸部の刺鍼 + 血圧測定
17	自分へ井穴刺鍼 + 相手へ刺鍼(顔面部)
18	胸郭刺鍼・腹部刺鍼(切皮のみ)
19	期末試験
20	期末試験

	基礎分野専門基礎分野				専門分野	九州医療スポーツ専門学					門学校
科目区分					0		2019年			鍼灸学科	
授業科目名	受業科目名		基礎:	実技4		担当者名		·	河口	弘幸	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次	2年次		3年次	
		<b>l</b> '	1	'		前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			'		授業時間数		40				
授業概要					衛生的にパートナ かりと意識付ける		.ることを	習得する	ことを目	的とする。	0
成績評価											
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技 基礎編	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	2点3壮施灸について
2	上肢外側面への施灸①大腸経
3	上肢外側面への施灸②三焦経
4	上肢内側面への施灸①肺経
5	上肢内側面への施灸②心経・心包経
6	下肢前面への施灸練習①胃経
7	下肢前面への施灸練習②脾経
8	下肢前面への施灸練習③胆経
9	中間テスト
10	中間テスト
11	腹部への施灸
12	腰部への施灸
13	背部への施灸
14	頭部への施灸
15	上肢への施灸
16	下肢への施灸
17	下肢への施灸
18	隔物灸
19	期末試験
20	期末試験

*** = **	基礎分野専門基礎分野				専門分野	九州医療スポーツ専門等					
科目区分					0	2019年度 スポーツ鍼タ					碱灸学科 2学年
授業科目名			応用	実技1		担当	i者名		河口	弘幸	
授業形態	講義	講義 演習 実技 実習			履修年次等		下次		次	3年	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	前期	後期
授業概要	う。				. 四診法(望・聞・間・局 論治を習得する。	<b>□</b> □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	を行い、		おに基づき	き処方と酢	記穴を行
成績評価	中間語	中間試験、期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画							
1	ガイダンス 望診(顔面診)							
2	望診(舌診)①							
3	望診(舌診)②							
4	聞診							
5	問診①							
6	問診②							
7	切診①(脈診)							
8	切診②(脈診)							
9	切診③(脈診)							
10	中間試験							
11	切診(腹診)①							
12	切診(腹診)②							
13	切診(背診)①							
14	切診(背診)②							
15	切診(切経、切穴)							
16	四診法まとめ							
17	四診法から弁証論治①							
18	四診法から弁証論治②							
19	期末試験							
20	解答解説							

科目区分	基礎分野     専門基礎分野     専門分野     九州医療スポーツ専門会       2019年度     スポーツ鍼灸・       22										
授業科目名			応用	実技2		担当者名    澤口			真也		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	下次	3年	次
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期 40	後期	前期	後期
授業概要	-				独診と、その筋に )を体得する。	対して正	確でスム	一ズな旅	<b>値術を体</b> 移	导する。	
成績評価	中間	中間試験、期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	図解 整形外科学検査法		

回数	授業計画						
1	ガイダンス 低周波鍼通電療法の使い方						
2	下腿部の触診						
3	下腿部(伸筋群)のパルス①(前脛骨筋、長指伸筋など)						
4	下腿部(屈筋群)のパルス②(腓腹筋、長趾屈筋、後脛骨筋など)						
5	大腿部の触診						
6	大腿部のパルス(大腿四頭筋、大腿二頭筋、半腱様筋など)						
7	前腕部の触診						
8	前腕部(伸筋群)のパルス①(橈側手根伸筋、総指伸筋など)						
9	前腕部(屈筋群)のパルス②(尺側手根屈筋、腕橈骨筋など)						
10	中間試験						
11	上腕部の触診						
12	上腕部のパルス(上腕二頭筋、上腕三頭筋、三角筋など)						
13	肩甲部の触診						
14	肩甲部のパルス(棘上筋、棘下筋、肩甲挙筋など)						
15	腰背部の触診						
16	腰背部のパルス(僧帽筋、脊柱起立筋、腰方形筋など)						
17	頭部、頸部の触診						
18	頭部、頸部のパルス(板状筋、斜角筋、胸鎖乳突筋など)						
19	期末試験						
20	解答解説						
•	-						

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2019年度 スポーツ鍼灸学科 2学年					
授業科目名			応用	実技3		担当者名			大中 孝子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	<b>F次</b>		次	3年	次
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期 40	後期	前期	後期
授業概要	鍼灸	臨床でよ	く用いら	れる経穴	のスムーズな取り	でと施術	を体得す	る。			
成績評価	自覚	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。 実技小テストは独自の採点基準のもと厳粛に採点します。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技 基礎編	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	督脈
2	任脈
3	肺経
4	大腸経
5	胃経
6	牌経
7	心経
8	小腸経
9	まとめ
10	中間試験
11	膀胱経
12	膀胱経
13	腎経
14	心包経
15	三焦経
16	胆経
17	胆経
18	肝経
19	期末試験
20	解答解説

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野			201		スポーツ	
授業科目名	応用実技4 担当者名				用実技4 担当者名				大庭	慎一郎	3
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	下次	2年	下次	3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	前期	後期
授業概要	現代	医学的に	ニ病態を批	型握する「	中で、必ず必要と	なる検査	法を習得	する。			
成績評価	中間	中間試験、期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技 基礎編	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	頸部と上肢の検査
2	頸部と上肢の検査
3	頸部と上肢の検査
4	頸部と上肢の検査
5	頸部と上肢の検査
6	頸部と上肢の検査
7	頸部と上肢の検査
8	頸部と上肢の検査
9	頸部と上肢の検査
10	中間試験
11	腰部と下肢の検査
12	腰部と下肢の検査
13	腰部と下肢の検査
14	腰部と下肢の検査
15	腰部と下肢の検査
16	腰部と下肢の検査
17	腰部と下肢の検査
18	腰部と下肢の検査
19	期末試験
20	解答解説

科目区分	基礎分野   専門基礎分野   専門分野 九州医療ス   2019年度 ス										
科日区方	7日巨刀 O Z019年度 スポ							スポーツ	- 数处字符 2学年		
授業科目名	Л.		応用実技5			担当者名			中村	裕司	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		次	3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	<u>後期</u> 40	前期	後期
授業概要					身体の各部位別に 法を習得すること?			か行える	ることを目	的とする	,
成績評価		実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	図解 整形外科学検査法	新関真人	医道の日本

回数	授業計画
1	膝:検査法①:OAに対する検査法
2	膝:検査法②:外傷に対する検査法
3	膝:刺鍼•施灸 1
4	膝:刺鍼·施灸 2
5	膝:刺鍼•施灸 3
6	足関節:検査 1
7	足関節:検査 2
8	足関節:刺鍼・施灸 1
9	足関節:刺鍼・施灸 2
10	足関節:刺鍼・施灸 3
11	腰下肢・殿部:検査法 1
12	腰下肢・殿部:検査法 2
13	腰下肢・殿部:刺鍼・施灸 1
14	腰下肢・殿部:刺鍼・施灸 2
15	腰下肢・殿部∶刺鍼・施灸 3
16	腰下肢・殿部:股関節周囲への刺鍼 1
17	腰下肢・殿部:股関節周囲への刺鍼 2
18	腰下肢・殿部:坐骨神経への刺鍼 1
19	腰下肢・殿部:坐骨神経への刺鍼 2
20	期末試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2019年度 スポーツ鍼灸学科 2学年					
授業科目名			応用	実技6	;	担当者名 宮原 正人			正人		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	下次	3年	F次
単位数			1		授業時間数	前期後期		前期	後期 40	前期	後期
授業概要			-		}体の各部位別に 法を習得すること			とが行える	ることを目	的とする	<b>5</b> .
成績評価		実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	図解 整形外科学検査法	新関真人	医道の日本

回数	授業計画
1	肩関節∶検査法・関節可動域検査 1
2	肩関節∶検査法・関節可動域検査 2
3	肩関節:刺鍼·施灸 1
4	肩関節∶刺鍼・施灸 2
5	肩関節:刺鍼·施灸 3
6	頚部∶検査法・関節可動域検査 1
7	頚部∶検査法・関節可動域検査 2
8	頚部∶刺鍼・施灸 1
9	頚部∶刺鍼・施灸 2
10	頚部∶刺鍼・施灸 3
11	胸郭:検査法 1
12	胸郭:検査法 2
13	胸郭: 刺鍼·施灸 1
14	胸郭: 刺鍼·施灸 2
15	胸郭:刺鍼·施灸 3
16	自由上肢:検査法 1
17	自由上肢:検査法 2
18	自由上肢:刺鍼・施灸 1
19	自由上肢:刺鍼・施灸 2
20	期末試験

14 D D A	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2020年度 スポーツ鍼灸学科					
科目区分					0			202	20年度 2	スポーツ	減灸学科 3学年
授業科目名			臨床	実技1		担当者名 山野 州康					·
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		上次		次	3年	次
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期
授業概要	臨床の	これまで習得した技術や技法を用いて、 臨床の現場でよくみられる腰下肢・膝・上肢に対する適切な診察が行えることを目的とする。 また臨床でよく用いられる徒手検査法も反復して行い、技術向上を図る。									
成績評価		試験およびカルテやフィードバック用紙の提出状況、出席状況、服装、衛生的な手技、 授業態度等を総合的に評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	腰部の診察①:OSCE対策
2	腰部の診察②:OSCE対策
3	腰部の診察③:OSCE対策
4	腰部の診察④:OSCE対策
5	膝の診察①:OSCE対策
6	膝の診察②:OSCE対策
7	肩の診察①:OSCE対策
8	肩の診察②:OSCE対策
9	上肢の診察①:OSCE対策
10	上肢の診察②:OSCE対策
11	上肢の診察③:OSCE対策
12	上肢の診察④:OSCE対策
13	下肢の診察①:OSCE対策
14	下肢の診察②:OSCE対策
15	下肢の診察③:OSCE対策
16	下肢の診察④:OSCE対策
17	下肢の診察⑤:OSCE対策
18	頭部の診察①:OSCE対策
19	頭部の診察②:OSCE対策
20	解答解説

	基礎分野 専門基礎分野 専門分野 九州医療スポーツ専門										
科目区分		0 2020年度 スポート						スポーツ	鍼灸学科 3学年		
授業科目名			臨床	実技2		担当者名			宮原 正人		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	₣次	2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期
授業概要	施灸.	さまざまな症状のものを東洋医学的な弁証論治と西洋医学的観点から治療方針・選穴刺鍼、施灸、生活指導が行えるようになることを目的とする。 また模擬患者を作り、医療面接から治療まで行い、同時に患者対応力も習得していく。									
成績評価	期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。										
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	図解 整形外科学検査法		

回数	授業計画
1	肩こり①
2	肩こり②
3	腰痛
4	腰下肢痛①
5	腰下肢痛②
6	膝痛
7	肩痛①
8	肩痛②
9	頚部痛①
10	頚部痛②
11	上肢痛①
12	上肢痛②
13	疲労·倦怠感
14	食欲不振
15	冷え・のぼせ
16	下痢
17	便秘
18	腹痛
19	喘息
20	期末試験

	カ州医療ス										
科目区分					0	2020年度 スポーツ鍼灸学科 3学年					鍼灸学科 3学年
授業科目名			臨床	実技3		担当	i者名	大庭 慎		慎一郎	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		次		次
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期
授業概要	施灸	さまざまな症状のものを東洋医学的な弁証論治と西洋医学的観点から治療方針・選穴刺鍼、施灸、生活指導が行えるようになることを目的とする。 また模擬患者を作り、医療面接から治療まで行い、同時に患者対応力も習得していく。									
成績評価	期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。										
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	頭痛
2	めまい
3	顔面痛
4	顔面麻痺①
5	顔面麻痺②
6	眼精疲労
7	不眠①
8	不眠②
9	肥満
10	婦人科:月経痛①
11	婦人科:月経痛②
12	婦人科:不妊①
13	婦人科:不妊②
14	美容の鍼①
15	美容の鍼②
16	美容の鍼③
17	美容の鍼④
18	美容の鍼⑤
19	美容の鍼⑥
20	期末試験

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	5 九州医療スポーツ専門学校 2020年度 スポーツ鍼灸学科 3学年					
授業科目名			臨床	実技4		担当者名 松井 恵理					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	下次	3年	次
単位数		1 授				前期	後期	前期	後期	前期	<u>後期</u> 40
授業概要		さまざまな神経刺鍼や特殊鍼法を知り、症状に対して治療・生活指導が行えるようになることを目的とする。									
成績評価	自覚	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。 実技小テストは独自の採点基準のもと厳粛に採点します。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

1       後頭神経刺鍼         2       足底への刺鍼         4       膝関節・膝の靭帯への刺鍼         5       尺骨神経刺鍼         6       正中神経刺鍼         7       橈骨神経刺鍼         8       知熱感度測定         9       皮内鍼         10       棒灸         11       小児鍼①         12       小児鍼②         13       体位鍼②         15       運動鍼(四肢)①         16       運動鍼(四肢)②	回数	授業計画
3       足関節への刺鍼         4       膝関節・膝の靭帯への刺鍼         5       尺骨神経刺鍼         6       正中神経刺鍼         7       橈骨神経刺鍼         8       知熱感度測定         9       皮内鍼         10       棒灸         11       小児鍼①         12       小児鍼②         13       体位鍼①         14       体位鍼②         15       運動鍼(四肢)①         16       運動鍼(四肢)②	1	後頭神経刺鍼
4       膝関節・膝の靭帯への刺鍼         5       尺骨神経刺鍼         6       正中神経刺鍼         7       橈骨神経刺鍼         8       知熱感度測定         9       皮内鍼         10       棒灸         11       小児鍼①         12       小児鍼②         13       体位鍼②         14       体位鍼②         15       運動鍼(四肢)①         16       運動鍼(四肢)②	2	足底への刺鍼
5       尺骨神経刺鍼         6       正中神経刺鍼         7       橈骨神経刺鍼         8       知熱感度測定         9       皮内鍼         10       棒灸         11       小児鍼①         12       小児鍼②         13       体位鍼①         14       体位鍼②         15       運動鍼(四肢)①         16       運動鍼(四肢)②	3	足関節への刺鍼
6 正中神経刺鍼 7 橈骨神経刺鍼 8 知熱感度測定 9 皮内鍼 10 棒灸 11 小児鍼① 12 小児鍼② 13 体位鍼② 14 体位鍼② 15 運動鍼(四肢)①	4	膝関節・膝の靭帯への刺鍼
7	5	尺骨神経刺鍼
8 知熱感度測定 9 皮内鍼 10 棒灸 11 小児鍼① 12 小児鍼② 13 体位鍼① 14 体位鍼② 15 運動鍼(四肢)①	6	正中神経刺鍼
9       皮内鍼         10       棒灸         11       小児鍼①         12       小児鍼②         13       体位鍼①         14       体位鍼②         15       運動鍼(四肢)①         16       運動鍼(四肢)②	7	橈骨神経刺鍼
10       棒灸         11       小児鍼①         12       小児鍼②         13       体位鍼①         14       体位鍼②         15       運動鍼(四肢)①         16       運動鍼(四肢)②	8	知熱感度測定
11       小児鍼①         12       小児鍼②         13       体位鍼①         14       体位鍼②         15       運動鍼(四肢)①         16       運動鍼(四肢)②	9	皮内鍼
12       小児鍼②         13       体位鍼①         14       体位鍼②         15       運動鍼(四肢)①         16       運動鍼(四肢)②	10	棒灸
13       体位鍼①         14       体位鍼②         15       運動鍼(四肢)①         16       運動鍼(四肢)②	11	小児鍼①
14     体位鍼②       15     運動鍼(四肢)①       16     運動鍼(四肢)②	12	小児鍼②
15     運動鍼(四肢)①       16     運動鍼(四肢)②	13	体位鍼①
16 運動鍼(四肢)②	14	体位鍼②
	15	運動鍼(四肢)①
	16	運動鍼(四肢)②
17   連動鍼(体幹)(1)	17	運動鍼(体幹)①
18 運動鍼(体幹)②	18	運動鍼(体幹)②
19 まとめ	19	まとめ
	20	期末試験

~! <del>-</del> :	基礎	分野	専門基礎分野 専門分野									
科目区分					0	2020年度 鍼灸学科 3学年 I 部						
授業科目名			臨床	実技5		担当者名			堀之内 貴一			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次		次		次	
単位数			1		授業時間数	前期後期		前期	後期	前期	<u>後期</u> 40	
授業概要	治療	方針•選	<b>穴刺鍼、</b>	施灸、生	Jと「鑑別診断」が 活指導が行える↓ :から治療まで行し	うになる	ことを目			<b>.</b> <.		
成績評価		期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	経絡治療① 概要
2	経絡治療② 基本治療
3	長野式治療① 概要
4	長野式治療② 基本治療
5	長野式治療③ 応用治療
6	積聚治療① 概要
7	積聚治療② 基本治療
8	積聚治療③ 応用治療
9	澤田流灸法
10	耳鍼 耳鳴り
11	督脈通陽法①
12	督脈通陽法②
13	刺絡鍼法①
14	刺絡鍼法②
15	吸角療法①
16	吸角療法②
17	五刺・九刺・十二刺 ①
18	五刺·九刺·十二刺 ②
19	まとめ
20	期末試験
•	

科目区分	基礎	基礎分野     専門分野     九州医療スポーツ専門 2019年度       スポーツ鍼灸									
授業科目名			臨床	実習1		担当者名			山野 州康		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		F次		下次
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期 45	前期	後期
授業概要	医療 日常的	患者に接する医療人としての姿勢をみにつける医療面接を行う。 医療面接の目的である「ラポールの形成」「情報聴取」「患者教育」の3点の意識づけ。 日常的に行っている人への接し方が、ロールプレイを通じてどのように感じられているのかを「気づき」、自分なりに「受容」し「検討」する。									
成績評価	授業征	授業後に記載するレポート提出と、定期試験による医療面接のロールプレイにて評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション
2	オリエンテーション
3	医療面接 医療面接技法 1
4	医療面接 医療面接技法 2
5	医療面接 コミュニケーションの方法 1
6	医療面接 コミュニケーションの方法 2
7	医療面接 問診項目のチェック、導入 一般的問診 1
8	医療面接 問診項目のチェック、導入 一般的問診 2
9	医療面接 問診項目のチェック、導入 一般的問診 3
	医療面接 問診項目のチェック、導入 十問診 1
	医療面接 問診項目のチェック、導入 十問診 2
12	医療面接 問診項目のチェック、導入 十問診 3
13	医療面接 ピュアレビュー 1
14	医療面接 ピュアレビュー 2
	医療面接 ピュアレビュー 3
16	メモを取りながらの医療面接 ロールプレイ 1
17	メモを取りながらの医療面接 ロールプレイ 2
18	メモを取りながらの医療面接 ロールプレイ 3
19	メモを取りながらの医療面接 ロールプレイ 4
20	メモを取りながらの医療面接 ロールプレイ 5
21	カルテの書き方説明、カルテ記入 1
	カルテの書き方説明、カルテ記入 2
	カルテの書き方説明、カルテ記入 3
	カルテ記載による医療面接 ロールプレイ 1
	カルテ記載による医療面接 ロールプレイ 2
	カルテ記載による医療面接 ロールプレイ 3
	カルテ記載による医療面接 ロールプレイ 4
	カルテ記載による医療面接 ロールプレイ 5
	総括 1
30	総括 2

n	基礎分野 専門基礎分野			専門分野	九州医療スポーツ専門								
科目区分					0			20194	2019年度 スポーツ鍼灸学科 2学年				
授業科目名		臨床実習2 担当者名				者名	山野 州康						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		F次		F次		下次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	<u>後期</u> 45	前期	後期		
授業概要	臨床	の現場で	でよくみら	れる各	を用いて、 疾患に対する適 手検査法も反復					<sup>-</sup> る。			
成績評価		式験およびカルテやフィードバック用紙の提出状況、出席状況、服装、衛生的な手技、 受業態度等を総合的に評価する。											
その他													

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	OSCE症例(頸部疾患) 1
2	OSCE症例(頸部疾患) 2
3	OSCE症例(頸部疾患) 3
4	OSCE症例(頸部疾患) 4
5	OSCE症例(肩関節疾患) 1
6	OSCE症例(肩関節疾患) 2
7	OSCE症例(肩関節疾患) 3
8	OSCE症例(肩関節疾患) 4
9	OSCE症例(上肢疾患) 1
10	OSCE症例(上肢疾患) 2
11	OSCE症例(上肢疾患) 3
12	OSCE症例(上肢疾患) 4
13	OSCE症例(胸郭出口症候群) 1
14	OSCE症例(胸郭出口症候群) 2
15	OSCE症例(胸郭出口症候群) 3
16	OSCE症例(胸郭出口症候群) 4
17	OSCE症例(腰下肢疾患) 1
18	OSCE症例(腰下肢疾患) 2
19	OSCE症例(腰下肢疾患) 3
20	OSCE症例(腰下肢疾患) 4
21	OSCE症例(膝疾患) 1
22	OSCE症例(膝疾患) 2
23	OSCE症例(膝疾患) 3
24	OSCE症例(膝疾患) 4
25	OSCE症例(足部疾患) 1
26	OSCE症例(足部疾患) 2
27	OSCE症例(足部疾患) 3
28	OSCE症例(足部疾患) 4
29	総括1
30	総括2

科目区分	基礎	基礎分野     専門基礎分野     専門分野     九州医療スポーツ専門       0     2020年度     スポーツ鍼灸										
授業科目名			臨床	実習3		担当	担当者名			野 州康		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次		下次	3年	下次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	<u>後期</u> 45	
授業概要	具体的 実際(	これからの鍼灸師にとっても不可欠な能力である医療面接技法のスキルアップさせるために 具体的な症例を用いて実習を行う。 実際に臨床現場で必要な人材になるための人格教育、また業務に必要なカルテの記載力 向上を図ることを目的とする。										
成績評価	レポ-	レポート、出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション(臨床実習の進め方)
2	オリエンテーション(医療面接の復習)
3	臨床実習に向けての実習①
4	臨床実習に向けての実習②
5	臨床実習に向けての実習③・ 臨床実習施設での実習
6	臨床実習に向けての実習④・ 臨床実習施設での実習
7	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
8	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
9	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
10	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
11	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
12	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
13	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
14	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
15	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
16	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
17	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
18	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
19	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
20	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション

	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学						
科目区分					0			2020年度 スポーツ鍼灸学科 3学年				
授業科目名			臨床	実習4		担当	者名	山野 州康				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		下次		次		F次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	<u>後期</u> 45	
授業概要	具体 実際	これからの鍼灸師にとっても不可欠な能力である医療面接技法のスキルアップさせるために 具体的な症例を用いて実習を行う。 実際に臨床現場で必要な人材になるための人格教育、また業務に必要なカルテの記載力 向上を図ることを目的とする。										
成績評価	レポ-	レポート、出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
2	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
3	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
4	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
5	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
6	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
7	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
8	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
9	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
10	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
11	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
12	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
13	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
14	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
15	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
16	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
17	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
18	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
19	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
20	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
21	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
22	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
23	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
24	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
25	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
26	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
27	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
28	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
29	総括1
30	総括2

	基礎分野	専門基礎分野	<del>基礎分野 専門分野 九州医療スポーツ専門学校</del>							
科目区分			0 2019年度 スポーツ鍼							
授業科目名		総合演習1		担当者名		大庭 慎一朗			l	
授業形態	講義演習	実技 実習	履修年次等		次	2年次		3年次		
	2			前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数			授業時間数		40					
授業概要	— — .		をはかり、また東 、さらに深く理解す	· · · - ·			に学習で	する。		
成績評価										
その他										

使用	教材	書籍名	著者名	出版社名
教	科書	解剖学(第2版) 生理学(第3版) 東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考	図書			
回数		授業	計画	
1	解剖	学の演習1		
2	解剖	学の演習2		
3	解剖	学の演習3		
4	解剖	学の演習4		
5	解剖	学の演習5		
6	解剖	学の演習6		
7	解剖	学の演習7		
8	解剖	学の演習8		
9	解剖	学の演習9		
10	解剖	学の演習10		
11	生理	学の演習1		
12	生理	学の演習2		
13	生理	学の演習3		
14	生理	学の演習4		
15	生理	学の演習5		
16	生理	学の演習6		
17	生理	学の演習7		
18	生理	学の演習8		
19	生理	学の演習9		
20	生理	学の演習10		

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2019年度 スポーツ鍼灸学科 2学年					
授業科目名	総合演習2					担当者名		山野 州康			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	<b>Ĕ次</b>	3年	次
単位数		2			授業時間数	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期	前期	後期
授業概要		西洋医学・東洋医学の科目間の連携をはかり、実際の鍼灸臨床に役立つようにさらに深く理解することを目的として総合的に学習する。									
成績評価	出席点	出席点や宿題、レポート提出により評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学(第3版) 解剖学(第2版)	佐藤優子·佐藤昭夫他 著 奈良 信夫·佐藤千史他 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	解剖学・生理学演習 1
2	解剖学・生理学演習 2
3	解剖学・生理学演習 3
4	解剖学・生理学演習 4
5	解剖学・生理学演習 5
6	解剖学・生理学演習 6
7	解剖学・生理学演習 7
8	解剖学・生理学演習 8
9	解剖学・生理学演習 9
10	解剖学・生理学演習 10
11	東洋医学・経穴学演習 1
12	東洋医学·経穴学演習 2
13	東洋医学・経穴学演習 3
14	東洋医学・経穴学演習 4
15	東洋医学・経穴学演習 5
16	東洋医学・経穴学演習 6
17	東洋医学・経穴学演習 7
18	東洋医学・経穴学演習 8
19	東洋医学・経穴学演習 9
20	東洋医学・経穴学演習 10

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2020年度 鍼灸学科 3学年 I部					
授業科目名	総合演習3					担当者名		小寺		凌	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	□次	3年	<b>□次</b>
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	<u>前期</u> 40	後期
授業概要		鍼灸業務に携わる上で必要となる診察の手順に始まり、各疾患との鑑別方法について知識と技術を習得する。									
成績評価	期末	期末試験、授業態度、知識及び習熟状況を総合的に評価。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	人体の観察法と検査
2	代謝·栄養疾患
3	内分泌疾患①
4	内分泌疾患②
5	整形外科疾患①
6	整形外科疾患②
7	腎·尿器疾患
8	神経疾患
9	リウマチ性疾患・膠原病
10	その他の領域(小児科疾患・一般外科・耳鼻科疾患)
11	診察シュミレーション①
12	診察シュミレーション②
13	診察シュミレーション③
14	鑑別診断の手法①
15	鑑別診断の手法②
16	鑑別診断の手法③
17	鑑別診断の手法④
18	鑑別診断の手法⑤
19	期末試験
20	解答解説

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2020年度 鍼灸学科 3学年 I部						
授業科目名			総合	演習4		担当者名		宮原 」		_	正人	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年	F次	2年	F次	3年	次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	<u>後期</u> 40	
授業概要		経穴の取穴部位と身体解剖との位置関係を理解し、それを東洋医学的鑑別(四診法など)を用いて それぞれの病証に対して弁別し、鍼灸治療を用いた臨床応用が出来るように学ぶ。										
成績評価	原則。	原則として、小テストを含めた定期試験の結果で評価する。										
その他												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版 経絡経穴概論	教科書執筆委員会 著	医道の日本社
参考図書	東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋医法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	経穴の総合演習①(骨度法、流注について)
2	経穴の総合演習②(要穴について)
3	経穴の総合演習③(背部、腹部の並びの経穴について)
4	経穴の総合演習④(四肢の経穴について)
5	経穴の総合演習⑤(奇経八脈、奇穴について)
6	経穴の総合演習⑥(筋と経穴について)
7	経穴の総合演習⑦(神経と経穴について)
8	経穴の総合演習⑧(動脈、臓器と経穴について)
9	経穴の総合演習⑨(動脈、臓器と経穴について)
10	経穴の総合演習⑪(動脈、臓器と経穴について)
11	東概の総合演習①(五行色体、陰陽について)
12	東概の総合演習②(生理物質について)
13	東概の総合演習③(臓腑について)
14	東概の総合演習④(経絡について)
15	東概の総合演習⑤(病因病機について)
16	東概の総合演習⑥(四診について)
17	東概の総合演習⑦(弁証論治について)
18	東概の総合演習⑧(弁証論治について)
19	期末試験
20	解答解説

원 모 <b>교</b> 사	基礎	分野	専門基礎分野 専門分野			九州医療スポーツ専					
科目区分					0	2020年度 3   3   3   3   3   3   3   3   3   3					<b>鍼灸字科</b> 年 Ⅰ部_
授業科目名			総合	演習5		担当	i者名	黒川 典子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2			授		前期	後期	前期	後期	前期	<u>後期</u> 40
授業概要		東洋医学概論と東洋医学臨床論の科目間の連携をはかり、実際の鍼灸臨床に役立つようにさらに深く理解することを目的として総合的に学習する。									
成績評価	原則。	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論 東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	神経・筋疾患①
2	神経・筋疾患②
3	神経・筋疾患③
4	運動器疾患①
5	運動器疾患②
6	スポーツ障害①
7	スポーツ障害②
8	中間試験 解答・解説
9	頸部①
10	頸部②
11	腰部①
12	腰部②
13	呼吸器·循環器疾患①
14	呼吸器•循環器疾患②
15	消化器·泌尿器疾患①
16	消化器·泌尿器疾患②
17	婦人科疾患・膠原病①
18	婦人科疾患・膠原病②
19	期末試験
20	解答解説

科目区分	基礎	分野	専門基	礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 2020年度 鍼灸学科					
授業科目名			総合	演習6		担当	i者名	マイス			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期 後期 前期			<u>後期</u> 40
授業概要		鍼灸業務に携わる上で必要となる診察の手順に始まり、内科的な疾患との鑑別方法について知識と技術を習得する。									
成績評価	原則。	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。									
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学(第2版) 臨床医学各論 等	佐藤優子·佐藤昭夫他 著 奈良 信夫·佐藤千史他 著 (社)東洋療法学校協会 編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	基本診察法
2	視診、問診、触診
3	打診、聴診
4	血圧測定
5	診察演習
6	脈管・循環器の構造
7	脈管・循環器の機能
8	脈管·循環器系疾患①
9	脈管·循環器系疾患②
10	呼吸器の構造
11	呼吸器の機能
12	呼吸器疾患①
13	呼吸器疾患②
14	消化器の構造
15	消化器の機能
16	消化器疾患①
17	消化器疾患②
18	消化器疾患③
19	期末試験
20	解答解説